

令和6年度学校評価の振り返りと今後の対応について②

大田市立第一中学校

学校経営の基本方針		取組の重点	取組と成果	課題と今後の対応
「活力」と「学力」未来に生きていく自信づくり	経営基盤		○学校経営において大切にしたいこと、めざす生徒像については繰り返し、端的に伝わるようにした。一中生の「つながりを大切にしようとする」風土を意味づけして適宜伝えるようにし、生徒会も同じ方向で考え、活動してくれることが多かった。生徒会の力の伸びを感じた。 ○今年度は造形教育研究大会の会場校であったこともあり、より視覚環境の整備に努めた。絵や言葉の豊かさを意識した掲示に生徒が見入る姿があった。生徒の描くデコレーションやポスターが校内の雰囲気を高めてくれていた。 ○安全点検を定期的に行い、早期の修繕に努めている。特に昨年度使いにくいとの声が生徒からあがったトイレについては、こまめな点検を行っている。清掃担当の頑張りもあり、トイレは以前よりきれいな状態が保てている。 ○避難訓練についてより地域の実態にあったものになるようPTA活動の中で一緒に考えていただけた。	○学校だよりやホームページでの啓発を続け、保護者、地域の方との連携、理解の深化を図っていきたい。 ○生徒が描くポスターや作品を楽しみにしてもらっている声があり、今後も校内の「言語環境、視覚環境」を整えていきたい。 ○トイレの故障があったが、その都度、市教育委員会、業者の方と連携を図り、早急な対応はしている。しかし、校舎の老朽化もあるため、「水の流し方、大量に紙を使わないこと」等、生徒にも配慮を引き続き求めていく。 ○耐震性について不安を感じる声をいただいた。本校の校舎は耐震化の工事は終えている。しかし、災害が多い国内の状況もあるため、避難訓練についてはより機動性のあるものとしていきたい。
	活力	一人ひとりが安心して過ごせる学校	○今年度はPTA活動との連携もあり、様々な人権課題について考える機会がもてた。保護者の方からも大人が聞いても参考になったという声をいただいた。人権に関することは、日頃からの啓発とわかりやすいメッセージの両輪で今後も推進していききたい。 ○生徒会が「自分のこととして考えよう」と伝えてくれる場面がある。このメッセージを大切にしていきたい。 ○自分や他者の良さを見つけるようとしていると回答する生徒が増えている。このことを意味づけし、より生徒の自己肯定感を耕していきたい。 ○人権週間に職員が各学級でミニ講話を行い、様々な人権課題に関する意識や関心を高めた。	○生徒、保護者のアンケートの回答からSNSの使い方に課題が見られる。大人からは見えにくい世界であるため、<u>事前に情報モラルを育むことが大切である</u>と考える。次年度はこの点について強化して研修を行いたい。 ○教職員は一緒に考えてくれるという項目について概ね肯定的な回答はもらっているが、苦しんでいる生徒もいるという前提で今後も積極的に生徒理解、肯定的な声かけを大切にし、相談しやすさを醸成することに努めていきたい。 ○いじめの概念等をきちんと子どもたちに教えてほしいとのご意見をいただいている。いじめを生まない風土を育むためにも「いじめの理解」を客観的な視点からも指導していききたい。
		積極的な生徒指導の推進	○あいさつや規範意識に関する生徒の意識は高い。生徒会の各委員会が様々なチェックを行い、主体的な取組により、学校生活をよりよいものにしようとしていた。 ○今年度も各種アンケートや教育相談、きずなノート等を通して、いじめや人間関係のトラブルの早期発見に努めた。「教職員は一緒に考えてくれる」という項目に対して生徒から概ね肯定的な回答を得ている。しかし、人間関係に悩みを抱える生徒もいる。今後も日常的な取組を大切にしていきたい。 ○生徒会活動に対する意欲が高まっている。ポスターや看板等を工夫して、見える形でつながりを高めていこうとする生徒の取組が成果をあげていると考える。 ○ネット利用に関する項目の回答について、生徒は適切にできていると感じているが、大人(教職員、保護者)は、課題を感じている様子があった。ヘルスライフチェック等による生活習慣定着の取組の成果があると考えた反面、何がいのかという基準があいまいであったり、時間の約束がルーズであったりする実態もうかがえる。	○登下校中の様子についてマナーに疑問を感じるとのご意見をいただいている。学校でも継続的な指導や声かけを行ったり、教職員が見守りに立ったりしているが、校区が広く限界がある。今年度は交通事故で子どもさんを亡くされた方の講演を聞く場を設けて、様々なマナーやルールを守ることの大切さを生徒たち自身も考えていた。ぜひご家庭でも交通マナーや公共の場での身だしなみについて指導をお願いしたい。 ○情報モラルに関しては、継続的に指導を行っているが、課題を感じておられる保護者も多く、次年度は具体的にわかる研修会を実施していききたい。 ○生徒会が生徒全員で活動をして学校生活をよりよくしていこうとする意識をもってくれている。特に行事等は生徒会と連携を図り、主体的、自立的な取組となるようにしていきたい。 ○様々な学びの形態を大切にし、今後も自学室、教育支援センター（あすなろ教室）、他機関等を利用して学習できる環境を整えていきたい。継続して生徒の本人の願いを理解しながら、保護者の方と連携を図っていききたい。
	学力	高い欲求あふれる諸活動に満ちた学校	○全教科で授業公開をし、授業力向上に努めている。また、タブレット端末活用をより進め、生徒たちが機器を操作して自ら学ぼうとする力をつけたいと考えている。そして、これらの取組をより一層充実させたい。 ○総合的な学習の時間に限らず、生徒は話し合ったり、発表をしたりすることに肯定的な傾向がある。また、集会等における「聞く態度」が大変良くなっている。造形教育研究大会の実施もあり、校内全体で「見る、聞く」環境の整備に努めてきた。このことと生徒会の呼びかけの成果が出てきていると考えている。 ○今年度も基礎テスト(国・数・社・英・理)を定期的に全校で行っている。このテストへの取組への意識が高まってきており、基準とする点数を超えられるよう計画的に勉強する様子が見られる。 ○アンケート結果からは「授業への意識」や「各教科の勉強は大切である」と考える傾向は、伸びてきている。しかし、勉強がわからないとする回答する生徒もあり、これらの生徒をより大切にしたい。ぜひテスト前の放課後学習会等を継続して実施するので、活用してほしい。 ○生徒会と連携した生活習慣等のチェックが定着してきている。これからも生徒の主体性を生かして自己理解を図ることを継続して大切にしたい。	○決められた課題については、大半の生徒がやり遂げる。また、学年部を中心に最後まで伴走もしている。しかし、家庭学習の時間の定着に課題がある。学年の発達に応じて自主学習の仕方を発展させていくこと、次の授業につながるものにすることを今後も工夫していきたい。 ○基礎テスト(国・数・社・英・理)については継続して実施し、基礎の定着を図っていききたい。 ○保護者さんの回答から、将来について考える様子が家庭では見えにくいことがわかった。系統的なキャリア教育により、自己理解を深め、また長所を子どもたちが見つけていく振り返りを行っていききたい。 ○部活動について、概ね肯定的な回答をいただいている。部活動は全国的に地域展開が進められており、大会主催団体も民間であることが増え、生徒輸送や経費については保護者の方に負担していただく方向となっていることをご理解くださり、ありがたく思う。今後は生徒数減に伴い、職員数も減っていく。そこで、安全面からも現在の体制を維持することは難しく、部活動は地域や他校と連携し、整理しなければならない状況であること、ご理解いただきたい。
		地域と共に歩み、地域から信頼され応援される学校	家庭・地域との連携、協働 ○節約による保護者負担の軽減、時間を選ばずに連絡ができること等から、ペーパーレス化、欠席等の連絡の電子化等を進めた。また、夕方の遅い時間は留守番電話対応とさせてもらっている。この点について、保護者の方のご理解をいただき、スムーズな運営ができています。 業務改善の推進 ○成績処理、諸帳簿の管理、会計処理については、校内でチェックできる体制を整え、適切に行っている。この体制を引き続き、整えていきたい。 サービス管理 ○昨年度は「学校公開ウィーク」としていたが、参観に行った際に人数が少なく入りにくいとの声をいただいた。そこで、今年度は土日を中心に「学習公開日」を設定したところ、たくさんの保護者の方の来校があり、生徒たちの励みとなった。 ○地域と共に行う活動については、定着してきたものや地域ごとで直接子どもたちに声をかけてくださるものもあり、一中生と地域の方が協働する機会が徐々に増えている。	○学習公開日については、直前にも「明日ですよ」といった周知がほしいとのご意見があった。そこで、周知の仕方を今学期(3学期)から工夫をし、公開日を実施した。 ○体育館シューズをひもの色で学年がわかるようにしてリユースできるようにしてはとのご意見をいただいた。既に学年末で令和7年度からの変更は難しいが、令和8年度から実施できるように協議している。 ○体育祭の時期の暑さを心配される声をいただいた。他の行事との関係があり、大幅な変更は難しいが、次年度は今年度より一週間程度は日程をずらし、より熱中症対策をしていきたい。 ○防犯上の観点から常時施錠をし、公開日であっても入り口を限らせてもらっている。このことは継続していくため、ご理解いただきたい。保護者が使う傘立てや下駄箱がよくわからないというご意見をいただいた。事前メールの配信、表示の設置を行い、来校時にわかりやすいように今学期(3学期)から工夫をしている。 ○電話等の連絡が必要な場合、学校からは極力勤務時間内に発信することを引き続きご理解いただきたい。 ○校舎内の寒さ対策のため、生徒の服装を緩和してはどうかとのご意見をいただいた。設定温度の工夫とサーキュレーターにより暖気を循環させること等の寒さ対策を早速に図った。教室で授業を受ける際には、入試に準じた服装を自分で考え、判断できるようにと、引き続き呼びかけていくことをご理解いただきたい。生徒にもこのことは説明したところである。